

令和3年度事業報告

【事業概要】

令和3年度は、昨年度から続く世界的に新型コロナ感染の影響を受け続けた一年となりました。

日本の経済は、東京オリンピックの開催と、ワクチン接種等により、コロナ感染の収束を見据え景気の回復が期待されていましたが、新たなコロナ変異株の出現等により未だ感染の収束が見えず、景気回復も先行き不透明な状況が続くと見られています。

今後は、With コロナを見据えた社会経済活動が景気回復の鍵と考えられています。

豊前市・上毛町においても多数の感染者が確認され、会員の方には、就業時の感染対策、各種イベントの中止等にご協力をいただきました。

特に、会員の全員参加による「定時総会」「いきいき安全就業大会」は昨年度に続き中止となり、会員一同が参加の機会を設ける事が出来なかった事は、事務局としても残念な事と思っています。

この様な厳しい環境の中、当センターは、高齢者の「安全で適正な就業機会の拡大」と「地域住民や事業所等の幅広いニーズ」に対応すべく、事業を推進してまいりましたが、コロナ感染の影響で事業活動に少なからず影響が出ました。

センターの運営に関しましては、安定した運営基盤の構築を念頭に、第1に安全で適正な「就業開拓の拡大」第2に普及・啓発活動による「会員の拡大」

第3に安全対策の徹底による「安全就業の推進」を重点に取り組んでまいりました。

以上の結果

第1の「就業開拓の拡大」につきましては、受託件数 4,386 件(前年比 97%)と減少したものの、受注額では 177,847 千円(前年比 101%)と、コロナ禍の中、上回る事ができました。

第2の「会員の拡大」につきましては、高齢化等による会員の退会が入会を上廻り、前年比△5名の減少となりました。会員については減少化傾向が続いており、事業運営上大きな課題となっています。

就業状況につきましては、就業率 81.4%と前年比 4%向上しており、多くの会員の方に就業していただきました。

第3の「安全就業の推進」につきましては、事故件数で前年比△7件の減少となりましたが、重篤事故 1 件が発生しました。又、類似事故も多く更なる安全意識の徹底が必要であります。

以下に令和3年度の「1.就業開拓」「2.会員」「3.安全就業」の状況について報告します

1. 就業開拓の状況(受託事業)

受託件数で 4,386 件、受注額で 177,847 千円と、前年比件数は△146 件(96.8%)減少したものの、受注額は 2,186 千円(101.2%)増となりました。

表-1 <地区別受託件数・受注額>

[単位:千円]

地区	項目	令和2年度	令和3年度	前年差	前年比
豊前市	受託件数	3,863	3,708	△155	96.0%
	受注額	140,961	141,324	363	100.3%
上毛町	受託件数	669	678	9	101.3%
	受注額	34,700	36,523	1,823	105.3%
計	受託件数	4,532	4,386	△146	96.8%
	受注額	175,661	177,847	2,186	101.2%

2. 会員の状況

各種広報活動及び会費制度の改定等により、会員の入会促進を図ってきましたが、会員の退会(55名)が入会(50名)を上廻り 345名と前年比△5名の減少となりました。

表-2 <地区別会員数>

[単位;人]

地区	生別	令和2年度	令和3年度			前年差
			入会	退会	計	
豊前市	男性	205	23	32	196	△9
	女性	83	10	13	80	△3
	計	288	33	45	276	△12
上毛町	男性	54	10	8	56	2
	女性	8	7	2	13	5
	計	62	17	10	69	7
合計	男性	259	33	40	252	△7
	女性	91	17	15	93	2
	計	350	50	55	345	△5

表-3 <地区別会員の延べ就業人員と就業率>

地区	令和2年度		令和3年度	
	延べ就業人員	就業率	延べ就業人員	就業率
豊前市	25,112人	74.3%	25,038人	79.0%
上毛町	6,196人	91.9%	6,469人	91.3%
計	31,308人	77.4%	31,507人	81.4%

○就業率は、全体で 81.4%と前年より向上しており、多くの方が就業しています。特に上毛町の 91.3%は、県内平均と比較しても高い水準にあります。

○延べ就業人員は、31,507 人/年、一人平均 91 日/年、7.6 日/月就業しています。

3. 安全就業（事故）の状況

全体で10件と前年度より△7件減少したものの類似の事故が発生しており、更なる安全意識の徹底による、安全対策が必要と考えます。

表-4 〈事故の種類別件数〉 () 重篤事故内数

事故の種類	令和2年度	令和3年度	前年差
傷害事故件数	4件(2)	3件(1)	△1件(△1)
賠償事故件数	13件	7件	△6件
計	17件(2)	10件(1)	△7件(△1)

○事故の種類別には傷害事故3件、賠償事故7件の事故が発生しており傷害事故3件の内1件は剪定の落下による重篤事故となっています

表-5 〈事故の要因別件数〉 () 重篤事故内数

事故の要因	令和2年度	令和3年度	前年差
草刈り飛石	7件	5件	△2件
落下・転倒	3件(2)	3件(1)	0件(△1)
車両事故	3件	1件	△2件
その他	4件	1件	△3件
計	17件(2)	10件(1)	△7件(△1)

○事故の要因別には草刈り作業中による飛石事故が5件、草刈り・剪定作業中による落下・転倒事故が3件発生しています。

○特に草刈り作業の飛石事故は、例年最も多く発生しており、養生対策等の徹底による安全対策が必要です。

以下に令和3年度事業の実施状況について報告します

【事業の実施状況】

一、雇用によらない臨時的かつ短期的な就業、またその他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業、社会参加のための支援（公益目的事業）

〈就業開拓提供事業〉

1. 受託事業（一般）

高齢者の就業としてふさわしい地域に密着した仕事を、家庭や民間企業、官公庁の要請を受け、会員の能力・希望に応じて就業機会の提供を行いました。

表-6 〈地区別 公共・民間別受注実績〉

[単位：千円]

地区	受注区分	令和2年度		令和3年度		前年差	
		受注額	受注比率	受注額	受注比率	受注額	比率
豊前市	公共	29,429	20.9%	30,572	21.6%	1,143	103.9%
	一般企業	42,939	30.5%	40,434	28.6%	△2,505	94.2%
	一般家庭	68,593	48.7%	70,318	49.8%	1,725	102.5%
	計	140,961	100.0%	141,324	100%	363	100.3%
上毛町	公共	15,479	44.6%	15,716	43.0%	237	101.5%
	一般企業	4,748	13.7%	5,352	14.7%	604	112.7%
	一般家庭	14,473	41.7%	15,455	42.3%	982	106.8%
	計	34,700	100.0%	36,523	100.0%	1,823	105.3%
合計	公共	44,908	25.6%	46,288	26.0%	1,380	103.1%
	一般企業	47,687	27.1%	45,785	25.7%	△1,902	96.0%
	一般家庭	83,066	47.3%	85,773	48.2%	2,707	103.3%
	計	175,661	100.0%	177,847	100.0%	2,185	101.2%

- 受注額全体の95%を本事業(受託事業一般)で占めており、センター会員の81%以上の方の就業機会となっており、大部分を占めています。
- 受注の内訳は、一般家庭からの受注が圧倒的に多く、全体額の48.2%を占めており、次に公共が26.0%、民間企業が25.7%となっています。
- 前年比では、全体で101.2%、と上回りましたが、前年度まで継続していましたが、企業の草刈り作業の受注を辞退したことに伴い一般企業の受注が96.0%と減少しました。
- 当センターの特徴は、公共比率が県内平均の40%台から比較して低く、特に豊前市の公共比率が低い状況にありますが、今年度は豊前市の新型コロナワクチン接種会場の維持・管理業務の委託を受け昨年度20.9%から21.6%となりました。
- 今後センターの安定経営と行政施策を補完する上でも公共事業の受注拡大は重要と考えます。

表-7 〈職群別受注実績〉

{単位：千円}

職群	令和2年度		令和3年度		前年差	主な職種
	受注額	比率	受注額	比率		
一般作業	92,921	52.9%	96,215	54.1%	3,294	除草・農作業
技能	51,286	29.2%	50,104	28.2%	△1,182	剪定・大工他
管理	22,861	13.0%	23,426	13.2%	565	施設の維持・管理
サービス	8,083	4.6%	7,476	4.2%	△607	福祉・家事・事務他
その他	510	0.3%	626	0.4%	116	配達・集配他
計	175,661	100%	177,847	100%	2,185	

- 職群別の状況は、除草・農作業等の一般作業が全体の54.％、剪定・大工等の技能群が28％と2職群で全体の82％を占めており、地域特性が現れています
- 当センターの主たる就業は、一般からの屋外作業が多く、特に繁忙期に集中する為、発注者の要望に対応出来ない状態が続いています。
- 今後、地域の高齢化に伴い、シルバー事業へのニーズが高まる中、特に剪定・大工等の技能を要する会員の後継者不足が大きな課題となっています。

2. 受託事業（指定管理業務委託）

上毛町大池公園運動施設の指定管理業務を受託していることで、行政との信頼関係の醸成で上毛町公共事業の就業の拡大に結びついています。

表-8 〈指定管理事業実績〉

年度	利用件数	利用者人数	利用料収入額	受託収入額
令和2年度	1,317件	16,709人	650千円	9,285千円
令和3年度	1,826件	28,480人	1,050千円	9,737千円
前年差	509件	11,771人	400千円	452千円

- 毎年利用者の減少傾向にありますが、今年度は上毛町げんきの杜体育施設の建て替え閉館による影響で大池公園施設の利用者が大幅に増加しました。

3. 受託事業（介護・生活支援）

介護予防・日常生活支援総合事業の指定業者として、要支援の認定を受けた、在宅の高齢者の日常生活を支援するための就業提供を行いました。

表-9 〈介護・生活支援事業実績〉

年度	受注件数	就業人員	就業延べ人員	受託収入額
令和2年度	88件	3人	336人	240千円
令和3年度	50件	2人	195人	159千円
前年差	△38件	△1人	△141人	△81千円

- 介護予防から要介護申請者が増加しており、介護予防者の申し込みが少なくなっており、シルバーの支援要請が減少傾向にあります。又未就学児については、保育士の資格等の関係で委託を受けるのが出来なくなりました。

二、雇用による臨時的かつ短期的な就業又その他の軽易な業務に係る就業機会の確保・提供事業（公益目的事業）

1. 職業紹介事業

福岡県シルバー連合会の職業紹介事務所として当センターの事務所に職業紹介実施事務所を置き、仕事の紹介の求人を受け付け、就業を希望する高齢者に対し、必要な情報提供・相談・助言等を行う職業紹介の体制を整えています。

2. 労働者派遣事業

福岡県シルバー連合会の労働者派遣事業の事務所として、当センター内に「労働者派遣事業実施事務所」を置き、派遣労働を希望する高齢者を対象に派遣事業を推進し、就業機会の拡充・提供に努めました。

表-10〈派遣事業実績〉

年 度	受注件数	受注額	受託収入額
令和 2 年度	65 件	47,224 千円	2,875 千円
令和 3 年度	90 件	44,115 千円	2,685 千円
前年差	25 件	△3,109 千円	△190 千円

○派遣事業につきましては、前年度から続く新型コロナウイルス感染症の影響により、企業の休業、又就業会員のクーリングオフ等により、減少傾向にあり、前年比受注件数は 25 件増加したものの、受注額は△3,109 千円、受託収入額で△190 千円と減少しました。

三、高齢者の就業機会の確保や社会参加活動を発展・拡充するための普及、啓発、情報提供、研修・講習、相談・助言、調査等研究（公益目的事業）

1. 普及啓発事業

シルバー事業の認知度を高め理解・信頼を得るのみに、普及・啓発活動に取り組んできましたが、今年度は新型コロナウイルス感染症の影響を受け、各種イベントが中止となり一部活動に支障をきたしました。

(1) 広報活動

- ①会員報(いきいき通信)による就業情報の周知・徹底
- ②市・町全世帯へのチラシ配布によるシルバー事業の紹介と会員募集
- ③企業の定年退職者を対象にした、シルバー事業紹介の企業訪問
- ④各種イベント時における入会、就業相談やチラシの配布
- ⑤発注者を対象にした、「お客さまアンケート」を通じての普及・啓発
- ⑥各地域交流場所へのシルバー会員募集看板の差し替え・設置
- ⑦ハローワークでの会員募集と就業紹介チラシの設置

(2) 地域交流活動

- ①豊前市、クリーン作戦にボランティア活動での参加
以下、新型コロナの影響で計画していた行事は全て中止としました。
- ②上毛町ルート10クリーン作戦ボランティア参加
- ③豊前市「カラス天狗まつり」上毛町「上毛まつり」ボランティア参加
- ④会員、市民参加によるグランドゴルフ・輪投げ大会
- ⑤会員、市民参加による歳末募金餅つき大会
- ⑥会員による市・町の幼稚園、保育園へのクリスマスサンタ訪問

2. 安全適正推進事業

(1) 安全適正就業委員会

安全委員による、「安全適正就業委員会」を開催し、事故発生の原因と対策を徹底し、各職群への展開と会員報での周知を図りました。

(2) 安全パトロール

安全委員・事務局員による「安全パトロールを実施し、作業別「安全チェックリスト」による安全作業の徹底を図りました。

(3) 職群別班長会議

年度末開催の職群別班長会議を利用し、自職場の事故の総括と翌年度安全意識の徹底を図りました。

(4) いきいき安全適正就業大会

年度末開催の全会員を対象にした、高齢者の「健康管理」「交通安全」安全標語の表彰等、安全意識の徹底を図るための安全適正就業大会は新型コロナの影響で中止としました。

3. 相談事業

入会を希望する高齢者に対し、説明会を随時来訪・電話等により対応しました。会員の未就業者についても、希望等を聞き就業に沿える様に努めました。

4. 研修・講習事業

市民参加の技術向上のための各種講習会につきましては、新型コロナ感染の影響で一部中止としました。

(1) 剪定講習会

春、秋2回の計画でしたが春は新型コロナの影響で中止としました。秋については、剪定会員のもと一般会員・市民も参加して松の剪定を主体に開催しました。

(2) 草取り講習会

春、秋2回草取り会員による講習会を実施しました。

(3) 機械メンテナンス講習会は新型コロナ感染の影響で中止としました。

5. 委員会活動

委員会は、4 委員会を設け委員長(理事)、委員(会員)、事務局(職員)による会員主体の年間計画に基づき活動を実施しています。今年度は、新型コロナウイルス感染症の影響により委員会の開催中止が相次ぎ、活動に支障をきたしました。

(1) 安全適正就業委員会

事故発生時の原因と対策を徹底し、各職群への情報展開で周知・徹底しました。

道路交通法改正(令和4年4月1日)による「酒気帯有無の確認及び記録の保存」として、会員の業務車両使用時のアルコール検知の徹底を図る様になりました。

(2) 会員拡大委員会

会員の拡大を念頭に開催し、今年度は、会員の確保方策として「ゴールド会員制度」を設け、来年度実施に向けて理事会に提案し、承認を得られました。

(3) 就業開拓拡大委員会

地域の企業を訪問し、定年退職者を対象にした再雇用方法について、シルバー事業の説明の実施を行いました。その結果、定年退職後会員に登録して現状の企業で就業する方も現れました。

(4) 業務改善委員会

各職群の「業務の効率化」「業務推進上の問題点」を集約し、改善を図っており、今年度は車両管理方法(始・終業時のチェックリスト)の見直しを行いました。